

残暑も少し和らぐことでしょうか。台風の子節にもなりますね。下記のサイトにもありまように、たふさんのニュース等を目にしたことだと思ひます。

さて、どれだけの防災準備をしているかとなると、いささか心もとない感じもいたします。

「関東大震災から 100 年」特設サイト

～関東大震災から 100 年～ 知って備えよう 過去の大災害から学ぶ

www.data.jma.go.jp/eqev/data/1923_09_01_kantoujishin/index.html

『発生が昼食の時間と重なった事から、多くの火災が起きて被害が拡大、また、津波、土砂災害なども発生し、死者・行方不明者は 10 万 5 千人余（理科年表より）にのぼった。』じっくり学ぶ、早い準備でしょうね。いつ、職場、自宅、途中か、どこで遭遇するかはわからない。情報過多のいまはどう活かされていくのか、やはり不安の方が多ひように思ひます。

9 月のスケジュール表を添付いたします。ご査収ください。（菅野）

目次

- 1 物流危機 2024 年問題
- 2 心理的負荷による精神障害の労災認定基準を改正しました
- 3 「令和 4 年度 医療費の動向」を公表します ～概算医療費の年度集計結果～
- 4 令和 4 年労働調査実態調査 個人調査 PPT スライド添付
- 5 関連情報

- 1 物流危機 2024 年問題 * ご快諾有難うございます

京都産業保健総合支援センター <https://www.kyotos.johas.go.jp>

メンタルヘルス対策促進員 西野 智子

来年 4 月から自動車運転業務にも時間外労働の上限が適用されることになり、ドライバーの労働時間が短くなることで物流が停滞することが懸念されています。

何も対策を講じなければ、2024 年に 14%、2030 年に 34%の輸送不足が生じる可能性が試算されており、現在、生産性向上のための取組が進められています。取組のひとつに、高速道路でのトラックの速度規制を現行の時速 80 kmから引き上げる検討が進められています。同じ距離を今までより早く走ることにより時間が短縮できるというわけですが、大型車のスピードが速くなれば事故も増えますし、ドライバーにストレスがかかります。

また、大型トラックの後ろにトレーラーの荷台部分をつなげた「ダブル連結トラック」の導入が拡大しています。1 人のドライバーが倍の荷物を運べるようになるわけですが、このダブル連結トラックは全長 25mもあり、長い車両を運転するドライバーには大きなストレスを与えます。

一方で、ドライバーの負担になっているのが、「荷待ち（荷物を下ろすまで待機すること）」と「自主荷役（運んだ荷物を倉庫や棚に並べること）」です。荷待ちは 2～3 時間待たされることは当たり前で、自主荷役は欧米では別料金で請負いますが、日本ではドライバーがサービスで担う慣習となっており、長時間労働の一因になっているという現状があります。

時間外労働の上限適用の目的は、ドライバーの働き方を変えることです。働く時間を短くして、十分な賃金を保障するためには、業界の慣習である荷待ちや自主荷役の待遇改善も必要です。

私たち消費者の意識改革も必要です。

- ①再配達を減らすために、宅配ボックスを置いたり、受取スポットを利用すること
- ②急ぎでない場合は即日配送を避けること
- ③まとめて発注して配送回数を減らすこと、と小さなことですが、素早い流通のおかげで便利を得られるのは、ドライバーの長時間労働で成り立っていることを忘れないようにしなければいけません。

働き方改革が、ドライバーの量的・質的な負担軽減のもと進められることを望みます。

※ついつい、日々の便利さに慣れて、利用者としても気にとめていきたいところです。自主荷役という対応も知りました。働く人達のストレス、疲労度やアルコール検知器対応等、労務・健康管理全般にも目を向けていくことが必要になりますね。(菅野)

2 心理的負荷による精神障害の労災認定基準を改正しました

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l/?p=k3R9N7XEoSH7CxQBY>

【認定基準改正のポイント】

◎業務による心理的負荷評価表[※]の見直し

- ・ 具体的出来事「顧客や取引先、施設利用者等から著しい迷惑行為を受けた」（いわゆるカスタマーハラスメント）を追加
- ・ 具体的出来事「感染症等の病気や事故の危険性が高い業務に従事した」を追加
- ・ 心理的負荷の強度が「強」「中」「弱」となる具体例を拡充（パワーハラスメントの6類型すべての具体例の明記等）

※実際に発生した業務による出来事を、同表に示す「具体的出来事」に当てはめ負荷（ストレス）の強さを評価

◎精神障害の悪化の業務起因性が認められる範囲を見直し

- ・ 悪化前おおむね6か月以内に「特別な出来事」がない場合でも、「業務による強い心理的負荷」により悪化したときには、悪化した部分について業務起因性を認める

◎医学意見の収集方法を効率化

- ・ 専門医3名の合議により決定していた事案について、特に困難なものを除き1名の意見で決定できるよう変更

添付資料

[資料1 認定基準改正の概要 \[340KB\]](#)

[資料2 心理的負荷による精神障害の認定基準について \[450KB\]](#)

[資料3 「精神障害の労災認定の基準に関する専門検討会」報告書 \[1.4MB\]](#)

3 「令和4年度 医療費の動向」を公表します ～概算医療費の年度集計結果～

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k3R9N7XEoSH7CxUBY>

本資料における医療費は、速報値であり、労災・全額自費等の費用を含まないことから概算医療費と呼称しています。概算医療費は、医療機関などを受診し傷病の治療に要した費用全体の推計値である国民医療費の約98%に相当しています。

○医療費の動向調査：結果の概要

https://www.mhlw.go.jp/topics/medias/year/22/dl/iryohi_data_sankou.pdf

○令和4年度 医療費の動向－MEDIAS－

<https://www.mhlw.go.jp/topics/medias/year/22/index.html>

○「令和4年度 医療費の動向」を公表します ～概算医療費の年度集計結果～

Press Release

https://www.mhlw.go.jp/topics/medias/year/22/dl/iryohi_data.pdf

【調査結果のポイント】

- ・令和4年度の医療費は46.0兆円となり、前年度に比べて約1.8兆円の増加となった。(表1-1)
- ・医療費の内訳を診療種類別にみると、入院18.1兆円(構成割合39.4%)、入院外16.2兆円(35.3%)、歯科3.2兆円(7.0%)、調剤7.9兆円(17.1%)となっている。(表3-1)
- ・医療費の伸び率は4.0%。診療種類別にみると、入院2.9%、入院外6.3%、歯科2.6%、調剤1.7%となっている。(表3-2)
- ・医療機関を受診した延患者数に相当する受診延日数の伸び率は2.0%。診療種類別にみると、入院▲1.1%、入院外3.1%、歯科▲0.2%となっている。(表4-2)
- ・1日当たり医療費の伸び率は2.0%。診療種類別にみると、入院4.0%、入院外3.1%、歯科2.8%、調剤▲2.6%となっている。(表5-2)

4 令和4年 労働安全衛生調査(実態調査)個人調査 PPTスライド添付

容量が多く2回に分けて送信いたします。今日は「個人調査」です。ご参照ください。また、全体の分として、PDFファイルで添付いたします。ご査収ください。(菅野)

5 関連情報

◇ 厚生労働省▼△新着情報配信サービス から

(1) 自殺予防週間に向けて～厚生労働大臣メッセージ～

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k3RkbKOBn6xuBnEBY>

(2) 9月10日から9月16日は「自殺予防週間」です

～関係府省庁等と連携し、さまざまな取り組みを実施します～

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k3RkbKOBn6xuBnABY>

(参考 URL : https://www.mhlw.go.jp/stf/jisatsutaisaku_press230801.html)

(3) 広報誌「厚生労働」9月号

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=Y4SNx0U0UdEL-8HxY>

- ▶ 特集1：知らないと“損”をする 薬局活用術
- ▶ 地方厚生（支）局探検隊 四国厚生支局 医療指導部門
- ▶ みんなで考える地域包括ケアシステム 四国厚生支局 地域包括ケア推進課
- ▶ 未来のつぼみ 「キャリア形成・学び直し支援」事業に取り組む
- ▶ 新型コロナウイルス最前線
最終回 新型コロナウイルスから学ぶこと ～次なる感染症危機に備えて～

(4) 8月31日から、事業場内最低賃金の引き上げに取り組む中小企業等を支援する「業務改善助成金」を拡充します

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k3R62NTDrZ_KyvcBY

【助成金制度の詳細はこちら】

[2]業務改善助成金：中小企業・小規模事業者の生産性向上のための取組を支援

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/roudoukijun/zygyonushi/shienjigyoku/03.html

【添付資料】

リーフレット [「業務改善助成金の制度が拡充されます！」](#) [550KB]

リーフレット [「令和5年度 業務改善助成金のご案内\(令和5年8月31日改正版\)」](#) [1.2MB]

(5) 「令和5年度スマート・ライフ・プロジェクト」健康増進普及月間

特設 Web コンテンツのお知らせ

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=LcrDiQt6H59Fta2_Y

厚生労働省では、生活習慣の改善の重要性について国民一人ひとりの理解を深め、健康づくりの実践を促進するため、令和5年9月1日から30日までの1か月を「健康増進普及月間」と定めています。

【特設 Web サイト 概要】

■日時：令和5年9月1日（金）～9月30日（土）

「自分が歩いた歩数」がわかる写真を、応募フォームから投稿するだけで参加できます。投稿された各地域の参加者の歩数に応じて特設サイト上部の日本地図の画面が変化していきます。

詳細は下記 URL ご確認ください。

<https://www.smartlife.mhlw.go.jp/event/walking/>

「スマート・ライフ・プロジェクト」とは

「健康寿命をのばそう！」をスローガンに、国民全体が人生の最後まで元気に健康で楽しく毎日が送れることを目標とした国民運動。プロジェクトに参画する企業・団体・自治体と協力・連携しながら、運動、食生活、禁煙、健診・検診の受診について、具体的なアクションの呼びかけを行い、更なる健康寿命の延伸を推進しています。参画企業・団体・自治体数は令和5年7月31日現在で8,830団体です。

(6) 第 169 回市町村セミナーの資料について

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=r0hAsrJBocs3n289Y>

「防災と福祉の連携による被災者支援の取組について」

～災害ケースマネジメントの実践に向けて～

(7) 資料（第 2 回 健康づくりのための身体活動基準・指針の改訂に関する検討会）

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k3R5hd19guUUwoIBY>

<一部抜粋> ガイドラインの認知と身体活動（案）

ポイント

- 健康づくりのための身体活動指針 2023（アクティブガイド 2023）（仮称）は、対象者別にいくつかの種類が作成されている（成人・子ども・高齢者）。
- アクティブガイドの認知度を高めることで、人々の身体活動の実践を後押しできる可能性がある。
- アクティブガイドの認知度向上のために、さまざまな工夫を凝らして情報発信することを推奨する。

資料 [議事次第 \[PDF 形式：43KB\]](#)

[構成員名簿 \[PDF 形式：89KB\]](#)

[【資料 1】身体活動基準の見直しについて（案） \[PDF 形式：797KB\]](#)

[【参考資料 1】健康づくりのための身体活動基準 2013 \[PDF 形式：2.4MB\]](#)

[【参考資料 2】身体活動・運動の推奨値（案） \[PDF 形式：836KB\]](#)

◇ J I L P T から

(1) 教師を取り巻く環境整備について緊急提言／文科省

文部科学省は 8 月 28 日、「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策」を提言した。教師の長時間勤務の実態や全国的な教師不足が指摘されている状況に危機感を持つ必要があるとして、持続可能な学校の指導・運営体制を構築していくための施策を提言。(1)学校・教師が担う業務の適正化の一層の推進、(2)学校における働き方改革の実効性の向上等、(3)持続可能な勤務環境整備等の支援の充実について、取り組むべき施策を盛込んでいる。

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/099/mext_01551.html

(2) 2023 年度「地域雇用活性化推進事業」の採択地域、10 地域を決定／厚労省

厚生労働省は 8 月 31 日、2023 年度「地域雇用活性化推進事業」の採択地域として、北海道釧路市、埼玉県ちちぶ地域、岡山県津山市など 10 地域を決定した。

「地域雇用活性化推進事業」は、雇用機会が不足している地域や過疎化が進む地域が、その特性を生かして「魅力ある雇用」や「それを担う人材」の維持・確保を図るために創意工夫する取組みを支援するもの。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11606500/kasseikareiwa02.pdf>

◇ ◆【From_M】 から 情報提供有難うございます。

◆「日本企業の労働力クライシスを救う。」ピースタイムグループ、社会変革本部を設立し中小企業の人的資本経営を推進 生活背景と働き方のダイバーシティを実現し、SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）を重視した人的資本経営強化を推進
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000853.000003176.html>

◆かかりつけ医に定期的に通院している 高血圧患者の血圧管理は不十分である
一神奈川県内科医学会・日本医師会・日本高血圧学会・横浜市立大学との共同研究により明らかに一
厳格な血圧管理達成にむけて新たな治療戦略を実地医療の現場から提言 横浜市立大学
<https://www.yokohama-cu.ac.jp/news/2023/20230829kobayashikazuo.html>

◆「産業保健職の現場課題に答える」Q&A を掲載
(日本産業保健法学会／2023年8月3日)

<https://tokuteikenshin-hokensidou.jp/reference/2023/08/qa-34.php>
<https://jaohl.jp/qa2/>

当学会では、産業保健職が現場で直面するさまざまな法的課題についての研究・討議を進めているところですが、本年2月に「産業保健職に関する検討会」を発足させ、産業保健看護職、産業医、法律家を含めた多職種で、具体的な現場課題の洗い出しと検討等に取り組んで参りました。今般、その成果をQ&Aの形でホームページ上に公表いたしました。

◆労働政策研究・研修機構（JILPT）

企業で働く人の社会貢献活動と生涯キャリア（第127回労働政策フォーラム
2023年9月23日-27日）

第1部 2023年9月23日（土曜）～27日（水曜） *オンデマンド配信

第2部 2023年9月27日（水曜）14時00分～16時30分

*ライブ配信方式オンライン開催（Zoom ウェビナー）

https://www.jil.go.jp/event/ro_forum/20230927/index.html
https://www.jil.go.jp/event/ro_forum/20230927/20230927flyer.pdf

◆大同生命保険 リスクに備える意識は高いものの、「BCPの策定」は道半ば
～中小企業経営者アンケート「大同生命サーベイ」2023年7月度調査レポートの公表～
(PDF: 1.6MB)

https://www.daido-life.co.jp/company/news/2023/pdf/230828_news.pdf

◆9月29日開催

中小企業支援フォーラム～中小企業がウェルビーイングを推進していくために～

<https://www.daido-life.co.jp/company/event/assets/230823.pdf>

◆仕事を覚えられず「遅刻癖」にも悩むADHDの20代女性...入社時間に間に合わないのは発達障害のせい？ ココロブルーに効く話II 小山文彦

<https://news.yahoo.co.jp/articles/b05d9d5669d24e3421a80e6fa7c1c427204d0c7d?page=2>

◆調査レポート「職場の障害者活躍支援とインクルージョン風土が職場にもたらす影響」

[https://www.recruit-
ms.co.jp/issue/inquiry_report/0000001180/?theme=diversity,workplace](https://www.recruit-ms.co.jp/issue/inquiry_report/0000001180/?theme=diversity,workplace)

現在、障害のある人と一緒に働いている人に対して、日頃どのような働きかけや配慮を行っているか、また一緒に働くことでどのような影響を受けているか、などについて尋ねた

◆職場の若い人は何を考えているの？ Z世代とうまく付き合う方法

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d880e25df469068dd0849166cd8c21a15e324573>

Z世代はデジタルを使いこなす一方で…… 若い人たちの社会進出が始まってから、「Z世代」という言葉をよく耳にするようになった。

◆\健康管理システム『HealthCore』リリース記念／

「健康経営を推進するための健康データ管理と活用方法」オンラインセミナー開催
株式会社ヒューマネージ

[登壇者プロフィール]

岡田 邦夫 先生 特定非営利活動法人健康経営研究会 理事長

歌代 敦 氏 株式会社エムステージ 取締役産業保健事業部長

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000104.000055068.html>

[開催概要]

開催日:2023年9月27日(水) 14時00分~15時30分(予定)

会場:オンライン(インターネット環境があれば、どこからでもご参加いただけます)

参加費:無料

参加特典:本セミナー後のアンケートにご回答いただいた方に、歌代敦著『労働力減少時代の「もっとよくなる健康経営」企業が生き残るために経営者が取り組むべき産業医の活かし方(ダイヤモンド社)』を進呈いたします

◆孤独と熱意が人間性を育む——米津玄師が宮崎駿から受け取ったもの

<https://news.yahoo.co.jp/articles/40534ba3ba6013aaf007152bd4f94822712ad802>

小野田 富貴子(両立支援担当)

fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp

中山 篤 (メンタルヘルス担当)

atsui78natsu@gmail.com

菅野 由喜子(メンタルヘルス担当)

yukikan28@gmail.com